

平成26年度安城市学力充実プラン推進事業実績報告（概要）

1 教育活動

全国学力・学習状況調査の結果を分析したところ、国語では文章、語句の理解、的確な引用能力に課題が見られた。また、算数では特に、少数や分数などの基本的な計算方法の理解に課題が見られた。

そのため、国語では「自分の考えを伝え合ったり、話し合ったりすること」等の活動を充実させることで、文章や語句の理解はもちろん、より相手に伝わる伝え方を工夫することにより、目的や意図に応じて適切に表現する力を高めていきたい。また、算数では、なぜその方法で計算をするのか、なぜそのように問題を解いたのか等について、児童同士が説明し合ったり話し合ったりする活動を重視することで計算方法の理解を深めさせたい。

いずれの取組においても、児童が課題に対して、自らの考えを出し合い、意見交換をする中で、学び合い、自らの考えを深めていく姿を期待している。もちろん、このような取組が有効に機能するためには、一人一人が認められた存在である「あたたかい学級集団」が必要不可欠であり、学級づくりという視点からも取組が必要であることは言うまでもない。あたたかい学級集団を基盤にして、学び合いの授業を取り入れることで、児童は「学習への意欲」、「コミュニケーション力」、「考える力」を高めることになり、このことが本市の学力向上につながっていくと考える。

よって、「一人一人が、一人残らず学ぶことができる学び合いを中心とした授業づくり」を、桜井小学校を指定校とし、研究実践に取り組む。そして、その具体的な取組について市内各校に広めていきたいと考える。

2 ねらい

- ・一人一人が、一人残らず学ぶことができる学び合いを中心とした授業づくりをする。

3 活動内容

（１）学び合いの土台づくりをする。

- ・一人一人が大切にされるあたたかい学級集団を創る。（聴き合える、認め合える）
- ・児童が話しやすい、聴きやすい教室のレイアウトを工夫する。

（２）学び合う授業をデザインする。

- ・児童が見つけたわからなさの質に気づき、わからなさを大切にした授業づくりをすすめる。
- ・児童の学びに応じたダイナミックで、柔軟な授業展開をする。（ペア・グループ学習、単元構成）
- ・「わかりそうでわからない課題」「一人では解決が難しいが、友達の力を借りればできそうな課題」を取り入れる。

（３）教師が学び合うプロになる。

- ・授業における教師の役割「聴く・つなぐ・もどす」、教科の本質に即した学びを追求し、実践する。
- ・児童の学びの姿から省察・考察し、児童の学びにもどす研究協議会を目指す。
- ・個人研究テーマを設定し、学級の実態に合わせた学び合いを中心とした授業づくりの研究を行う。

4 実施した教育活動

○ 現職教育全体会【4月7日（月）】

- ・本年度の研究の方向と具体的な授業づくりについて共通理解を図った。

○ 提案全体授業&研究協議全体会【5月2日、8日、9日、12日】

- ・学び合いの授業について教員間での共通のイメージをもつために、低中高学年ブロックから1人ずつ授業を全体に提案した。そして、教師全員で研究協議会を行った。

5月2日（金）2年国語 「ことばで絵をつたえよう」

5月8日（木）3年国語 「すいせんのラップ」

5月9日（金）6年算数 「分数のかけ算」

5月12日（月）上記3提案授業についての研究協議会

○ ブロック公開授業（全員実施）【5月17日～6月10日】

- ・学び合いの土台づくりを視点にして、学年として、学級として、どの程度できているかをブロック単位で見合い、協議をした。

○ 校内授業研究会【6月4日（水）】

- ・②③⑤公開授業（全学級）、④提案授業（5年算数「小数÷小数」）
- ・研究協議全体会・指導講話（講師；日本大学 黒田友紀准教授）

○ 市教委現職教育訪問【6月30日（月）】

- ・③⑤公開授業（全員）、④特設授業6年算数「比とその利用」
- ・研究協議全体会・指導助言

○ 市教委指導員計画訪問【9月29日（月）】

- ・提案授業（4年理科「とじこめた空気や水」）
- ・研究協議全体会・指導助言（助言者；市教委理科指導員）

○ 市教委指導員計画訪問【10月22日（水）】

- ・提案授業（2年音楽「いろいろな音にしたしもう」）
- ・研究協議全体会・指導助言（助言者；市教委音楽科指導員）

○ 提案全体授業&研究協議全体会【11月27日（木）】

- ・3年算数「分数」

○ 授業研究会 安城市教育研究会教育実行委員会併催【12月3日（水）】

- ・②③④公開授業（全学級）、⑤提案授業（3年国語 「詩を読もう」）
（6年算数 「場合を順序よく整理して」）
- ・研究協議全体会・指導講話（講師；日本大学 黒田友紀准教授）

○ 提案全体授業&研究協議全体会【2月5日（木）】

- ・1年算数「おいほう すくないほう」

○ 研究会参加

- ・安城市立安城西部小学校研究発表会【10月9日（木）】

「生き生きと学び合う子の育成」～かかわり合いを通して学びを深める授業づくり～

- ・安城市立三河安城小学校研究発表会【10月1日（水）】

「自分の思いや考えを伝え合い学び合う子の育成」

～一人一人が学び、喜びを実感できる授業づくり～

- ・安城市立桜町小学校研究発表会【10月16日（木）】

「自分の考えを確かに表現できる子どもの育成」

～豊かな感性や表現力をはぐくみ自立をうながす教育活動の実践を通して～

- ・安城市立桜井中学校研究発表会【10月23日（木）】

「主体的に学びを楽しむ生徒の育成」

～関わり合い、認め合うことから、「できた」「わかった」への教師支援～

- ・静岡県富士市立元吉原中学校授業研究会【11月17日（月）】

「生徒一人一人の学びを保障するために活動的で表現的な学び」を目指した授業改善

―背伸びとジャンプのある 質の高い「学び」をめざして― 講師 北田圭子先生

- ・三重県紀宝町立井田小学校授業研究会【1月16日（金）】

「みんなが学習に参加できる授業の立案・研修」講師 佐藤 学先生

- ・神奈川県茅ヶ崎市立浜之郷小学校授業研究会【2月4日（水）】

「学びの共同体をめざして 授業研究会」講師 佐藤 学先生

5 事業効果

本事業を行うにあたり、桜井小学校を指定校として推進し、その成果を市内の小中学校に広めた。

指定校では、一人一人が一人残らず学ぶことができる学び合いを中心とした授業づくりを目指してきた。わからない子をわかるように、できない子をできるようにしたいと願い、学び合いの授業づくりをしてきた。また、指定校教員は多くの授業をお互いに参観し合い、市内外の多くの方々からご指導いただき、子どもの学びに対する考えが変わってきた。担任は、日々の学級経営では、お互いに認め合う考えを浸透させようと日々取り組んでいる。授業では「わからない」と言った子どもを取り上げ、授業の流れを子どもの思考に沿った形にしようと心掛けたり、無理に教え込むのではなく、グループやペアを利用して考えさせる時間を設けたりする教員が増えた。さらに、教科の目標を念頭に何を学ばせるべきなのかをおさえ、本質に即した学びを授業で実現しようと教材研究に時間を割き、「聴く・つなぐ・もどす」が合言葉のように語られるようになった。

こうした教師の意識の変化は確実に子どもたちの学ぶ姿勢の変化に表れてきている。指定校の今年度の学校評価では、「授業はわかりやすく楽しい」という質問に対して、子どもたちは86.1%が「はい」と答えている。これは昨年度の77.9%より8.2%あがっている。また、「授業では進んで自分の意見や感想などを発表している」という質問では67.2%の子どもたちが「はい」と答えている。これについても、昨年度の65.5%より、わずかではあるが上昇している。一人残らず学ぶことのできる学び合いの授業の実現は、今まで学習に受動的であった子どもが「もっとわかるようになりたい、できるようになりたい」と、能動的に学ぶようになり、学力を向上させていくはずである。本取り組みを指定校では継続し、その成果を今後も市内に広め、市全体として学力の向上に向けて研究を進めていきたいと考える。

6 今後の事業計画

- ・指定校における来年度授業研究会・校内授業研究会予定

第1回 授業研究会 6月3日 講師 黒田友紀

第2回 授業研究会 12月2日 講師 黒田友紀

第3回 授業研究会 2月17日 講師 黒田友紀

市教委 現職教育訪問 指導員計画訪問

校内全体授業 公開授業

- ・市の取り組み

安城市教育研究会教育実行委員会での成果の発表

安城市教育研究集録での報告